

「高齢化」と「没交渉」に対し
「デジタル的」と「アナログ的」対応で
地域活性化をはかる自治会組織

京都府長岡京市
高台自治会

A 高台地区の課題の認識

1) 高台地区の特色

長岡京市高台地区は、阪急不動産が開発した新興の住宅地で、昭和 40 年代に開発が始まり、当初は住宅も少なかったのですが、第 1 期第 2 期と開発が進むにつれ徐々に増え現在は約 400 世帯の規模になっています。

当地の特色としては

- 1) 全て一戸建ちで生活レベルが似通っていること
- 2) 住民は大学教授，会計士，医者，技術者などが多いこと
- 3) 移動する人が少なくまとまっていること

があげられます。

2) 高台地区の沿革

当地区は、天王山の山陰となるためテレビの難視聴地域で、CATV 化されていましたが、それでもテレビ画質に問題があり改善が必要であったため「高台共同受信施設管理組合」が作られ、放送やネットに関して高い関心がありました。

また宅地開発当初は若い世帯が多かったため、「高台子供会」が作られ、子供を通じてのコミュニケーションも盛んでした。

こうした組織的な活動をベースにし、高台地区でも自治会を作ろうとの声が高まり、昭和 61 年（1986 年）に「高台自治会」が発足しました。当初は同好会やスポーツを通じての親睦程度の組織でしたが、徐々に活発化し、最近数年は新しく発生した次のような課題に対応して、新しい活動が始動しています。

3) 高台地区の課題

高台地区が現在直面する課題として、次の 2 つがあげられます。

課題 1) 高齢化が進んでいること

当初入居した人はほとんどが若い世帯でしたが、前述のように当地区は人流動化が余りないため、高齢化が進むことになりました。

また子供たちが独立して出て行き核家族化する世帯が多くなり、ますます高齢化に拍車がかかることとなりました。

高台自治会に入会している 307 世帯（1019 人，加入率 85%）の内、70 才以上は 223 人を数え、一方小学生 49 人中学生 30 人と、人口構成は極端な逆三角形となっています。

高齢化対策は、高台地区にとって、まさに焦眉の急の課題といえます。

課題 2) 住民が没交渉となっていること

これまでの地域社会は、強い連帯感・助け合い精神・日常的交流・情報交換などが盛んで、和気藹藹の好ましい地域環境ができていたと思います。

大げさにいえば江戸時代から 30 年前くらいまでの何百年にもわたって、日本人の生活のベースとなっていたともいえます。

しかし「高齢化」「核家族化」「転勤による流動化」「意識の変化」「欧米的思考」などによるのでしょうか、それは大きく変化し、お隣さんとの関係は「没交渉」化しています。

特に高齢化が進めば、もっと交流や助け合いの活動が必要であるのに、その逆の方向に進んでいると感じます。

脱・没交渉の対策は、ある意味時代に逆行しているのかもしれませんが、当地区に関しては重要課題であると考えています。

B 環境の変化

1) 自治会の拠点が完成したこと

平成 17 年に自治会活動の拠点となるさくら会館が、公園横に完成しました。これまで近くの施設を借りて活動するしか仕方なかったものが、活動拠点が整備されたことで、より多くの住民サービスが可能となりました。

私たちはこのシンボリックなこの場所を使って、当面する課題に活かしたいと考えています。

2) ITの普及と住民のバックグラウンド

パソコンとインターネットの開発・普及が、ここ 10 年で急速に進みました。パソコンは既に世帯普及率 85%といわれ、社会を変えるとされるライン5千万台を、テレビ・自動車・電話と並んで、優に超えています。

高台住民は、前述のように比較的生活レベルと知識レベルに恵まれていたため、またテレビ難視聴地域であったことでネットに関する意識も高かったため、新しい環境を受け入れるバックグラウンドがありました。

また住人には大手企業でパソコンやインターネットを習熟し OB となった IT スキルの高い人たちも多く、さらに前述のようにスペシャリストで SOHO (Small Office/Home Office) で仕事をする人たちの比率も高く、IT化を受け入れやすい環境にありました。

3) ITの進展

1970 年代「ワイヤードシティ」という言葉が流行語となりました。“地域社会がネットでつながってコミュニケーションする”といったコンセプトでしたが、安価なパソコンも広範囲で高速のインターネットもなく技術が伴わなかった当時では、理念だけが先行し実現は困難でした。

しかし汎用性があり廉価なパソコンの登場(15年前)、インターネットの発達と普及(10年前)で、この理念が実現できるインフラが整備されてきました。

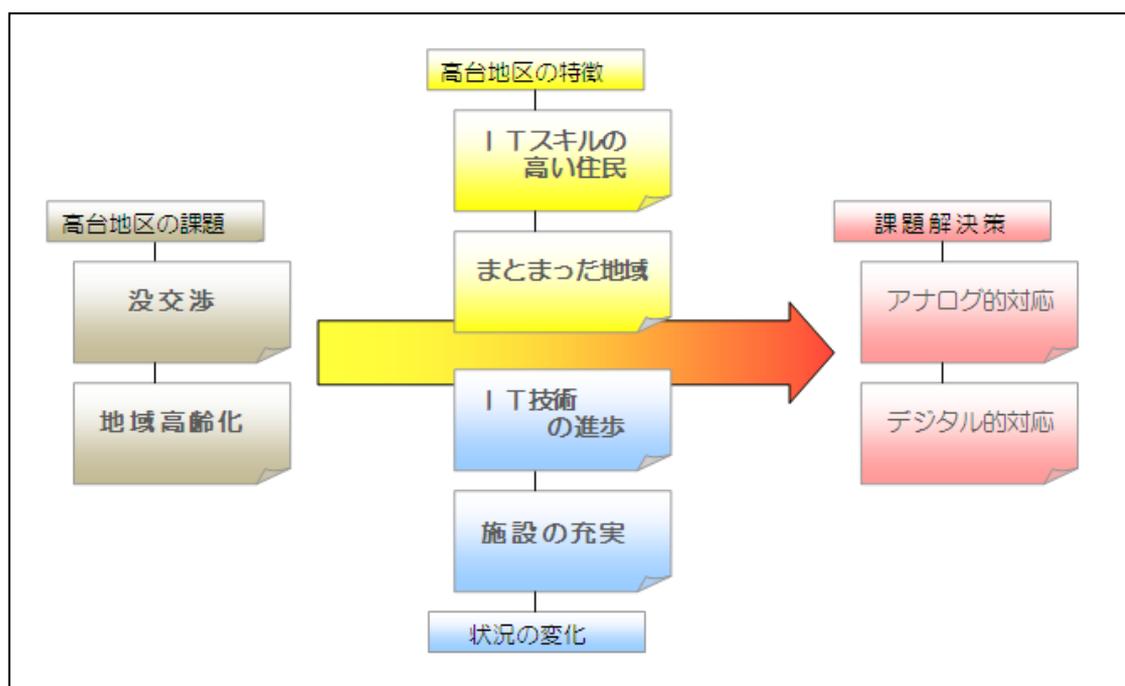
私たちは、高台地区に IT を使って“ワイヤードシティ”を構築し、課題解決をはかりたいと考えています。

もちろん、IT化で全ての現課題が解決するわけではなく、IT化は課題解決の一手段であると考えています。対策の基本方針は、“機械にできることは機械に”であり、高速で大

量に便利に処理できるITを活かせる部分はITに任せます。

しかし機械にできないところ、ITのデジタルに対してアナログともいべき分野、「皆で寄り合って楽しく話しあう」「趣味の合う人たちが揃って出かけてみる」「教えてもらいながら作品を作る」「みんなですポーツをする」といったことは、ITのバーチャルでは意味がなく、集まって顔を合わせて行って初めて効果があると考えています。

そこで私たちは、ITを活用したいわば「デジタル的方法」と、自治会館などを中心にした活動いわば「アナログ的手段」とによって、当面する高台地区の課題を解決し地域活性化をはかろうと考えました。



課題と対策のまとめ図

C 課題解決の具体的活動 デジタル的方法

ITを使った次のような具体的な活動をしています。

1 ネットでの連絡網の整備

情報連絡の効率化と迅速化をはかるため、メールによる連絡網を整備しています。これまでは電話やFAXによる方法でしたが、メール(パソコンの電子メールと携帯電話のメール)での連絡網を構築しています。

定期的な連絡としては、ホームページが更新されたことや見てもらうための一斉送信、緊急事態の送信などがあります。

また高台住民同士で、通常的にメールを交換すること、添付で資料や写真を交換するなども行われるようになっていきます。

2 ホームページの開設

高台ホームページ「高台ドットコム」を2年前に開設しました。現在メイン100ページ、マテリアル1200アイテム、容量600MBで、過去100回以上のアップデートをしています。内容は

① 部会等活動紹介

「歴史の会」「トールペイント」「ヨーガ」「敬老」などの同好会活動の紹介、「美化・衛生」「スポ・レク」「福祉」「防犯・防災」「夏祭り」「広報」などの部会の紹介をしています

② 連絡事項

「高台だより」(オンライン配布)、「自治会からの連絡」「お隣さん紹介」「催しもの紹介」「各種写真集」「各種記録的内容」「委員へのお知らせ」などの連絡事項を載せています

③ 情報提供

「近隣地図航空写真」「最寄バス時刻表」「近隣史跡紹介」「近隣名所のビデオ」「ゴミ出しの方法」「何でも交換会」「自治会の会則や資料」などの情報提供をしています

④ リンク

「高台でホームページを持つ人」「長岡京」「公的機関」などへリンクをして、ポータルサイト化をはかっています



3 パソコン教室の実施

パソコンやインターネットの操作を習得し向上するための「パソコン教室」を、自治会施設さくら会館で実施しています。

高台地区の皆さんのITスキルはばらついているため、それぞれに応じたコースを設定しています。

「電源の入れ方」「インターネットの活用」「電子メールの使い方」などの初心者コース、「ワード」「エクセル」「各種ソフトの使い方」の中級者コース、「ホームページの作り方」の上級者コースで、高台地区の熟練者が講師となってボランティアで講習しています。

主催 高台自治会

**60 70 喜んで 誰でも分かる
ポテでも大丈夫 『パソコン教室』**

**TAKADAI
Pasokon
SCHOOL**

高台自治会では、高台集会所（さくら会館）にパソコンやインターネットが整備できたことから、これを使った定期的な「高台パソコン教室」を開催しています。
今回は『基本コース』と『文章作成コース』で、分かりやすく実習します。パソコンの活用で趣味の世界が広がり、多くの人や懐かしい人と“お話し”ができるようになればと思います。
多くの皆さまの参加をお待ちしています。

月	コース	概 要	日時等
7月	【基本コース】	① パソコン操作方法 (電源の入れ方からの実習) ② パソコンの仕組み ③ 簡単なインターネットとメール等	どちらのコースも 28日(水) 29日(木) 30日(金)
	【文章作成コース】 (基礎編)	① ワードの使い方 ② 写真・イラストを使うには ③ きれいなチラシを作るには 等 *各自のレベルに合わせて、分かるまで繰り返し、説明します。コース別にグループに分かれます。全く初め	19時から2.5時間 日にちを選んでの参加もできます

パソコン教室の募集チラシ

4 「パソコン110番」の開設

パソコンは急速に一般家庭へも普及しましたが、職場とは違って、「故障して使っていない」「一部機能が動かない」といったトラブルは多いと思います。

実際高台地区でも、こうした理由によりパソコン使用率はそれほど高くないのが現状です。そこでパソコンやインターネットについて「使い方がわからない」「ネットが繋がらない」「購入について相談がある」「ホームページを作ったがうまく動かない」なども含めて、組織的に対応する「パソコン110番」体制を作っています。

高台の住民がボランティアで、迅速に出向いて修理し、また相談に応じています。故障という場合は少なく、大部分は再設定や設定変更で正常に戻っています。



シンボルマーク

5 IT設備の充実

自治会施設さくら会館をIT化の基地とするため、インターネット・パソコン環境、教室設備などを整備しました。

上記のホームページの発信基地、パソコン教室実施場所、行政とのネットの基地、IT情報収集場所 などとして使っています。

D 課題解決の具体的活動 アナログ的方法

高齢化や没交渉などの課題解決のため、機械にはできない集まったの、次のような具体的活動を行っています。

1) 同好会の充実

自治会施設さくら会館を使っの同好会を作っています。「絵手紙の会」「歴史の会」(写真1)「トールペイント」「女性のしゃべり場」「ヨガ」「ゴルフ」「大正琴の会」「健康体操教室」などがあり活発な活動をしています。さくら会館の稼働率は70%を越えています。

例えば「歴史の会」は、平成 18 年に発足し現会員 65 名、月 1 回の例会は年 2 回のバスツアーも含め、近畿一円に 50 回実施し延べ参加数は 1500 人を越えています。

2) 「高台だより」の発行

住民に情報や機会を提供する月 1 回の「高台だより」と臨時号を発行しています。B4 判カラーで現在 298 号を数え、全戸に配布しています。この広報誌により、住民の参画意識や連帯感が高まっています。

バックナンバーは高台のホームページ「高台ドットコム」で見ることができます。



高台だより 298 号の紙面

3) 各種行事の実施

春には高台内公園で実施する「観桜会」(写真 2)、夏には暑気払いで多くの屋台も作る「夏祭り」、秋にはチームを組んで市民運動会への参加、敬老を祝する「昼食会」(写真 3)などの恒例行事を行っています。

観光バス 2 台で向かう 2 年に 1 度のバスツアー、自治会施設さくら会館での講演会・演奏会(写真 4)・教室、老人会なども行っています。



1 歴史の会での記念撮影



2 高台夏まつりの様子



3 敬老会の会同の様子



4 演奏会の様子



5 緑のサポーターによる花壇作りの様子



6 防災訓練の様子

4) 行政との連携活動

行政から自治会への依頼・委託事項は、5ヶ所の公園や100本近いナンキンハゼの街路樹を維持管理する「緑のサポーター」(写真5)、学園地区でも当地の交通安全を見守る「防犯青パト」、宅地造成などでの地域の課題を検討する「環境活動」、エコ問題に対応しての「有効資源の回収」、防犯・防災に関する「調査」や「避難訓練」「防災訓練」(写真6)への参加、近隣の通学学生への交通整理、長岡京市からテーマごとに講演をいただく「出前ミーティング」、赤十字や社会福祉協議会などの募金活動への協力などです。こうした実施を通じて、高台住民の連携がはかれていると考えています。

高台地区ではこれからも、高台自治会が中心となり、行政などとも密接に連携を取りながら、高齢化や没交渉という特有の課題解決に向けて、ITを活用し、顔と顔を合わせる機会を多くして、皆さんの満足度の高い住民サービスを提供していきたいと考えています。